



平成30年9月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年11月14日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は608.6億円、前年同月比0.8%減、7か月ぶりのマイナス

船舶類、事務用機器、鉄鋼などが減少

映像機器、有機化合物、銅及び同合金などが増加

輸入額は1,089.7億円、前年同月比51.5%増、8か月連続のプラス

銅鉱、揮発油、原油及び粗油などが増加

鉄鉱石などが減少

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	9,279	117.2	15.2	鉄鉱石	14,000	72.9	12.8
鉄鋼	15,061	84.8	24.7	銅鉱	21,832	215.8	20.0
銅及び同合金	9,428	108.1	15.5	石炭	17,004	138.6	15.6
事務用機器	4,995	61.8	8.2	原油及び粗油	20,359	141.5	18.7
映像機器	9,117	360.1	15.0	揮発油	13,178	397.8	12.1
船舶類	3,472	38.2	5.7	液化天然ガス	10,606	175.0	9.7

港(通関官署)別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

- 大 分)** 輸出は565.9億円、前年同月比10.1%増。映像機器、有機化合物などが増加、事務用機器などが減少
輸入は1,070.4億円、前年同月比50.1%増。銅鉱、揮発油などが増加、鉄鉱石などが減少
- 佐 伯)** 輸出は0.9億円、前年同月比2.4%増。木材が増加
輸入は8.9億円、前年同月比2.2倍。船舶類、植物性油かす、石こうが全増
- 津久見)** 輸出は41.8億円、前年同月比57.7%減。船舶類、セメントなどが減少、石灰石が増加
輸入は10.4億円、前年同月比5.0倍。石油コークス、石炭、アルコール飲料が増加
- 大分 空港)** 輸出は実績なし
輸入は20万円、前年同月比全増。電気計測機器が全増

港名(通関官署)

(単位：百万円、%)

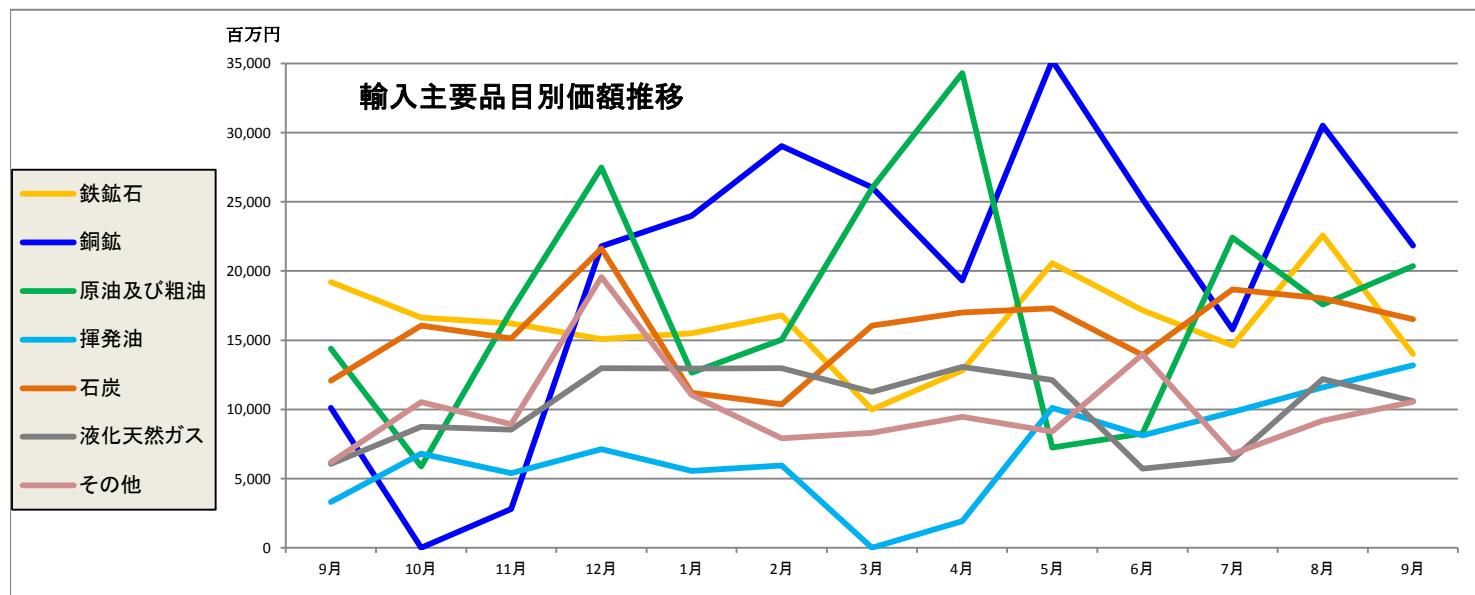
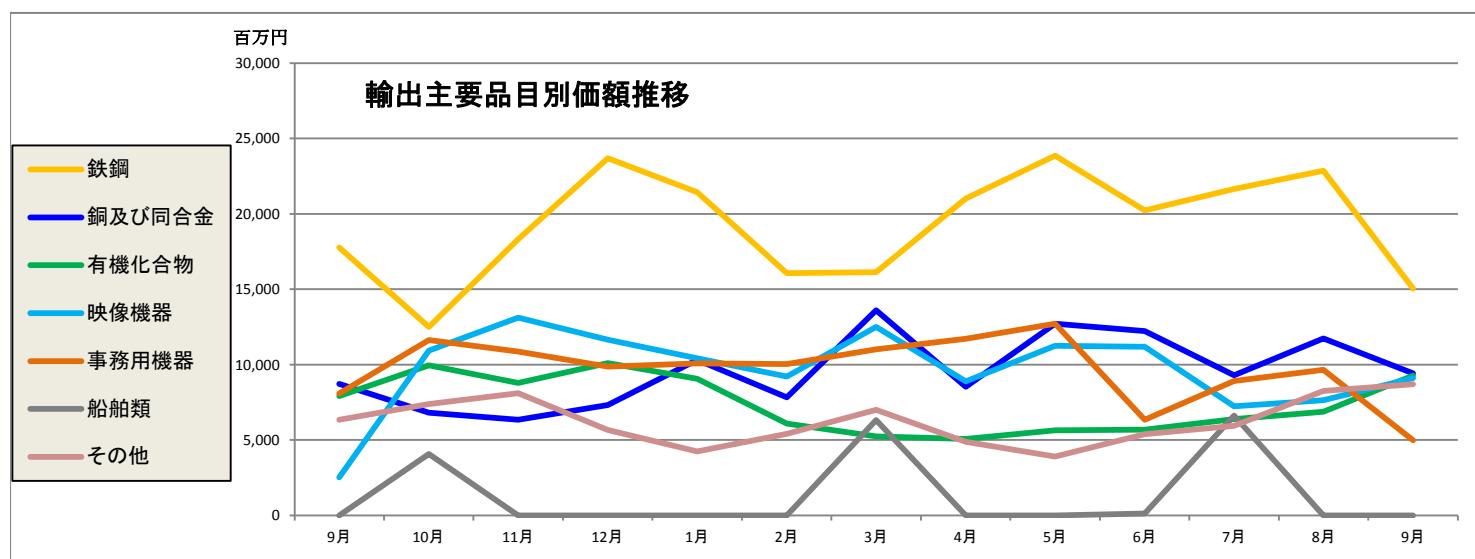
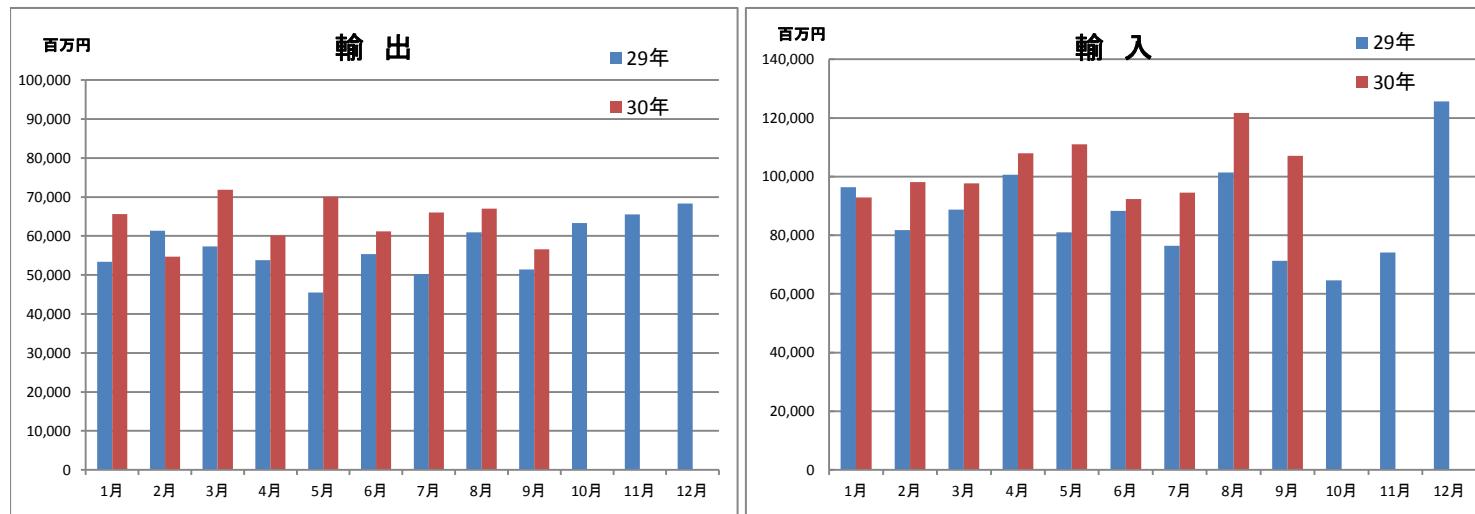
区 分	輸 出			輸 入			差引額	
	価 額	前年同月比		価 額	前年同月比		出・入超	価 額
大 分(大 分)	56,591	110.1	7か月連続のプラス	107,040	150.1	7か月連続のプラス	入超	50,449
佐 伯(佐 伯)	92	102.4	2か月連続のプラス	887	219.6	3か月連続のプラス	入超	795
津久見(津久見)	4,182	42.3	4か月ぶりのマイナス	1,040	501.3	3か月ぶりのプラス	出超	3,142
大分空港(大分空港)	-	-		0	全増	3か月ぶりのプラス	入超	0
大 分 県	60,865	99.2	7か月ぶりのマイナス	108,967	151.5	8か月連続のプラス	入超	48,102

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>